

パスコード: 53004-01 世代:1

経過	入院日(月)	2日目 (火)	3日目 (水)	4日目 (木)	5日目 (金)
月日	/		/	/	/
達成目標	☐入院の必要性がわかり、不安なく入院できる。 ☐糖尿病集団指導スケジュールについて分かる。 ☐血糖測定をする意義が分かる。	☐糖尿病合併症と治療について分かる。 ☐自宅での食事と治療食について違いが分かる。 ☐日常生活の注意点、食事の適正量・バランス、必要カロリーについて、食品交換表について分かる。	☐使用している薬剤血糖降下剤・インスリンについてわかる。 ☐低血糖症状とその対応について分かる。	☐看護師による糖尿病指導が理解できる。	☐検査の内容がわかり、不安なく受けることができる。 ☐生理機能検査の目的、自己血糖測定器の使い方が分かる。 ☐内服の必要性が分かり、確実な内服ができる。 ☐血糖コントロールの意義が分かる。
治療・処置・検査 薬剤 (点滴)	[検査について] ☐ () 時から、尿を24時間溜めていただきます。 [薬について] ☐持参薬の確認をします。インスリン等も確認します。医師の指示に従って下さい。 ☆ [血糖測定について] ☐医師の指示で、血糖測定を行います。食事前、眠前の4回を実施します。(持参の血糖測定器があれば使用します。) [検温について] ☐毎日10時、15時頃に検温に伺います。	[検査について] ☐ () 時に溜めていた尿を回収し、検査へ提出します。再度、尿をためる容器に尿を24時間溜めていきます。 	[検査について] ☐ () 時に、溜めていた尿を回収し、検査へ提出します。 	[検査について] ・医師の指示により、追加検査を受けていただく可能性があります。 ☆☆ [血糖測定について] ☐医師の指示で、血糖測定を食事前、9時、14時、20時、眠前の7回実施します。	
					
糖尿病指導		☐14:00～15:15 看護師、医師、栄養士より 「日常生活について」 「糖尿病について」 「糖尿病の食事」	☐14:00～14:30 薬剤師より 「薬について」	☐14:00～14:30 看護師より 「糖尿病指導（※週により内容がかわります）」	☐14:00～15:00 検査技師より 「生理機能検査について」 「自己血糖測定器について」
活動・安静度	☐病院内は自由				
食事	☐治療食を摂取していただきます。 ☐間食は () は可能です。	☐集団栄養指導 (糖尿病教室)			
清潔	☐入浴可 				
排泄	☐尿は、容器に24時間ためていただきます。	☐尿は、容器に24時間ためていただきます。	☐ () 時以降は、ためる必要はありません。(医師の指示をのぞいて)		
患者様及び家族への説明	[入院] ☐「入院のご案内」のパンフレットに添って説明します。 ☐名前確認のため、ネームバンドを装着させていただきます。 ☐薬剤・食物のアレルギーの有無を確認します。 ☐病歴などを聞かせてください。 ☐レンタルパジャマを使用する場合、お申し付けください。 ☐糖尿病集団指導スケジュールをお渡しします。 ☐血糖測定する意義について説明します。 [症状について] ☐冷や汗、ふるえなどが出た場合、低血糖になっている可能性が高いため、動かずにナースコールを押してください。 ☐ご家族へ来院できる都合を確認する場合があります。(栄養指導や、糖尿病教室へ患者様と一緒にいていただく場合があります。 不安なことや、心配なことがあれば、看護師にお尋ねください。				

注) この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容や入院期間等は病状にあわせてその都度変更する場合がありますのでご了承下さい。

糖尿病治療を受けられる

様へ（月曜日パス）

パスコード: 53004-01 世代:1

経過	6日目(土)	7日目(日)	8日目(月)	9日目(火)	10日目(水)	11～14日目退院日
月日	/		/	/	/	/
達成目標		☐ 血糖値が入院時に比べ安定する。		☐ 個人栄養指導を受け、生活の問題点について理解できる。	☐ 血糖値がコントロールされ、目標値内で安定する。	☐ 血糖値がコントロールされ、目標値内で安定する。 ☐ 低血糖・高血糖にて起こる症状が、改善・消失する。 ☐ 日常生活で血糖コントロールができる。 ☐ 低血糖・高血糖のが何で起こるかを理解し、予防するための行動がとれる。
治療・処置・検査薬剤(点滴)	[検査について] ・医師の指示により、追加検査を受けていただく可能性があります。 ☆[血糖測定について] ☐医師の指示で、血糖測定を行います。食事前、眠前の4回を実施します。 [検温について] ☐毎日10時、15時頃に検温に伺います。					
糖尿病指導	糖尿病教室理解度小テストを行って下さい。					
活動・安静度	☐ 病院内は自由					
食事	☐ 治療食を摂取していただきます。			☐ 個人栄養指導()		
清潔	☐ 入浴可					
排泄						
患者様及び家族への説明				[退院に向けて] ☐次回受診について説明します。 ☐運転する際の注意事項について、説明します。(必要時パンフレット指導) ☐自宅で低血糖になった場合の注意点について説明します。 ☐シックデイの際の対応について説明します。		退院おめでとうございます！

糖尿病の治療は患者さまの理解が一番大切です。糖尿病教室の内容を理解できたか、「理解度小テスト」でチェックしましょう！



♪糖尿病教室 理解度小テスト♪

◆【看護師からの問題】正しいものに○をつけて下さい。

- ①糖尿病合併症で足の感覚が鈍くなり症状が出現する。()
- ②心筋梗塞や脳梗塞の起きやすさとより関係あるのは食後血糖である。()

◆【栄養士からの問題】()の中に言葉を入れてください。

- ①()、()、()のそった食事をする。
- ②腹()分目を心がけ、()を抑える。
- ③1日()食、()に食べる。

◆【検査技師からの問題】

- ①あなたの血糖測定は1日何回、いつ行いますか？()
- ②低血糖の症状はどんなものがありますか？正しいものに○をつけて下さい。
(激しい空腹感／下痢／手足の震え／めまい／膝の痛み／意識障害)
- ③採血検査の前だけ食事療法を守れば結果はよくなりますか？(はい／いいえ)

◆【薬剤師からの問題】

- ①低血糖症状が現れたらどうしますか？正しいものすべてに○をつけて下さい。
- A) なにもしない。
- B) 砂糖やブドウ糖 (10-15g)、同等の糖分を含む市販のジュースを飲む。
- C) 余裕があれば自己血糖測定を行う。
- D) もっと症状が強くなるまで待ってからブドウ糖を飲む。
- E) 糖分をとって15分ほどたってもまだ回復しない場合はさらに砂糖などを飲む。
- ②インスリンの正しい保管方法はどれでしょうか？2つ選んで下さい。
- A) 使用中のインスリンは直射日光が当たらない日陰の場所で、常温で保存する。
- B) 使用中のインスリンも、使わないときは冷蔵庫で保存する。
- C) 未使用のインスリンは冷蔵庫で保存する。
- D) 未使用のインスリンは常温に保存し、直射日光が当たっても気にしない。
- E) 未使用のインスリンは冷蔵庫や製氷室で保存する。



回答は看護師まで！

注) この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容や入院期間等は病状にあわせてその都度変更する場合がありますのでご了承下さい。

パスコード:53004-02 世代:1

経過 月日	入院日 (火)	2 日目 (水)	3 日目 (木)	4 日目 (金)	5 日目 (土)	6 日目 (日)
達成目標	☐入院の必要性がわかり、不安なく入院できる。 ☐糖尿病集団指導スケジュールについて分かる。 ☐血糖測定をする意義について分かる。 ☐糖尿病合併症と治療について分かる。 ☐日常生活の注意点、食事の適正量・バランス、必要カロリーについて、食品交換表について分かる。 ☐自宅での食事と治療食について違いが分かる。	☐使用している薬剤血糖降下剤・インスリンについてわかる。 ☐低血糖症状とその対応について分かる。	☐看護師による糖尿病指導が理解できる。	☐検査内容がわかり、不安なく受けることができる。 ☐生理機能検査の目的、自己血糖測定器の使い方が分かる。		
治療・処置・検査 薬剤 (点滴)	[検査について] ☐ () 時から、尿を24時間溜めていただきます。 [薬について] ☐持参薬の確認をします。インスリン等も確認します。医師の指示に従って下さい。 ☆☆[血糖測定について] ☐医師の指示で、血糖測定を行います。食事前、眠前の4回を実施します。(持参の血糖測定器があれば使用します。) [検温について] ☐毎日10時、15時頃に検温に伺います。	[検査について] ☐ () 時に溜めていた尿を回収し、検査へ提出します。 再度、尿をためる容器に尿を24時間溜めていきます。 	[検査について] ☐ () 時に、溜めていた尿を回収し、検査へ提出します。 	[検査について] ・医師の指示により、追加検査を受けていただく可能性があります。 ☆☆[血糖測定について] ☐医師の指示で、血糖測定を食事前、9時、14時、20時、眠前の7回実施します。	☆☆[血糖測定について] ☐医師の指示で、血糖測定を行います。食事前、眠前の4回を実施します。	
糖尿病集団指導	☐14:00～15:15 看護師、医師、栄養士より 「日常生活について」 「糖尿病について」 「糖尿病の食事」	14:00～14:30 薬剤師より 「薬について」	☐14:00～14:30 看護師より 「糖尿病指導 (※週により内容がかわります)」☐	☐14:00～15:00 検査技師より 「生理機能検査について」 「自己血糖測定器について」		
活動・安静度	☐病院内は自由					
食事	☐治療食を摂取していただきます。 ☐間食は () は可能です。 ☐集団栄養指導 (糖尿病教室)					
清潔	☐入浴可 					
排泄	☐尿は、容器に24時間溜めてもらいます。	☐尿は、容器に24時間溜めてもらいます	☐ () 時以降は、ためる必要はありません。(医師の指示をのぞいて)			
患者様及び家族への説明	[入院] ☐『入院のご案内』のパンフレットに添って説明します。 ☐名前確認のため、ネームバンドを装着させていただきます。 ☐薬剤・食物のアレルギーの有無を確認します。 ☐病歴などを聞かせてください。 ☐レンタルパジャマを使用する場合、お申し付けください。 ☐糖尿病集団指導スケジュールをお渡しします。 ☐血糖測定する意義について説明します。 [症状について] ☐冷や汗、ふるえなどが出た場合、低血糖になっている可能性が高いため、動かずにナースコールを押してください。 ☐ご家族へ来院できる都合を確認する場合があります。(栄養指導や、糖尿病教室へ患者様と一緒にいただく場合があります。) 不安なことや、心配なことがあれば、看護師にお尋ねください。					

注) この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容や入院期間等は病状にあわせてその都度変更する場合がありますのでご了承下さい。

糖尿病治療を受けられる 様へ (火曜日パス)

パスコード:53004-02 世代:0

経過 月日	7 日目 (月)	8 日目 (火)	9 日目 (水)	10 日目 (木)	11～14 日目退院日
達成目標	☐血糖値が入院時に比べ安定する。 ☐内服の必要性が理解でき、確実な内服ができる。 ☐血糖コントロールの意義がわかる。		☐個人栄養指導を受け、生活の問題点について理解できる。	☐血糖値がコントロールされ、目標値内で安定する。	☐血糖値がコントロールされ、目標値内で安定する。 ☐低血糖・高血糖にて起こる症状が、改善・消失する。 ☐日常生活で血糖コントロールができる。 ☐低血糖・高血糖の何が何で起こるかを理解し、予防するための行動がとれる。
治療・処置・検査薬剤 (点滴)	[検査について] ・医師の指示により、追加検査を受けていただく可能性があります。 ☆[血糖測定について] ☐医師の指示で、血糖測定を行います。食事前、眠前の4回を実施します。 [検温について] ☐毎日10時、15時頃に検温に伺います。				
糖尿病集団指導		糖尿病教室理解度小テストを行って下さい。			
活動・安静度	☐病院内は自由				
食事	☐治療食を摂取していただきます。		☐個人栄養指導 (:)		
清潔	☐入浴可 				
排泄					
患者様及び家族への説明				[退院に向けて] ☐次回受診について説明します。 ☐運転する際の注意事項について、説明します。(必要時パンフレット指導) ☐自宅で低血糖になった場合の注意点について説明します。 ☐シックデイの際の対応について説明します。	 退院おめでとうございます！

糖尿病の治療は患者さまの理解が一番大切です。糖尿病教室の内容を理解できたか、「理解度小テスト」でチェックしましょう！



♪糖尿病教室 理解度小テスト♪

◆【看護師からの問題】正しいものに○をつけて下さい。

- ①糖尿病合併症で足の感覚が鈍くなり症状が出現する。()
- ②心筋梗塞や脳梗塞の起きやすさとより関係あるのは食後血糖である。()

◆【栄養士からの問題】()の中に言葉を入れてください。

- ①()、()、()のそろった食事をする。
- ②腹()分目を心がけ、()を控える。
- ③1日()食、()に食べる。

◆【検査技師からの問題】

- ①あなたの血糖測定は1日何回、いつ行いますか？()
- ②低血糖の症状はどんなものがありますか？正しいものに○をつけて下さい。
(激しい空腹感／下痢／手足の震え／めまい／膝の痛み／意識障害)
- ③採血検査の前だけ食事療法を守れば結果はよくなりますか？(はい／いいえ)

◆【薬剤師からの問題】

- ①低血糖症状が現れたらどうしますか？正しいものすべてに○をつけて下さい。
- A) なにもしない。
- B) 砂糖やブドウ糖 (10-15g)、同等の糖分を含む市販のジュースを飲む。
- C) 余裕があれば自己血糖測定を行う。
- D) もっと症状が強くなるまで待ってからブドウ糖を飲む。
- E) 糖分をとって15分ほどたってもまだ回復しない場合はさらに砂糖などを飲む。
- ②インスリンの正しい保管方法はどれでしょうか？2つ選んで下さい。
- A) 使用中のインスリンは直射日光が当たらない日陰の場所で、常温で保存する。
- B) 使用中のインスリンも、使わないときは冷蔵庫で保存する。
- C) 未使用のインスリンは冷蔵庫で保存する。
- D) 未使用のインスリンは常温に保存し、直射日光が当たっても気にしない。
- E) 未使用のインスリンは冷蔵庫や製氷室で保存する。



回答は看護師まで！

注) この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容や入院期間等は病状にあわせてその都度変更する場合がありますのでご了承下さい。

パスコード:53004-03 世代:1

経過 月日	入院日 (水)	2 日目 (木)	3 日目 (金)	4 日目 (土)	5 日目 (日)	6 日目 (月)
	/	/	/	/	/	/
達成目標	☐入院の必要性を理解し、不安なく入院できる。 ☐糖尿病スケジュールについて理解できる。 ☐血糖測定をする意義について分かる。 ☐使用している薬剤血糖降下剤・インスリンについてわかる。 ☐低血糖症状とその対応について分かる。	☐看護師による糖尿病指導が理解できる。	☐検査の必要性がわかり、不安なく検査をうけることができる。 ☐生理機能検査の目的、自己血糖測定器の使い方が分かる。			
治療・ 処置・検査 薬剤 (点滴)	[検査について] ☐ () 時から、尿を24時間溜めていただきます。 [薬について] ☐持参薬の確認をします。インスリン等も確認します。医師の指示に従って下さい。 ☆☆ [血糖測定について] ☐医師の指示で、血糖測定を行います。食事前、眠前の4回を実施します。(持参の血糖測定器があれば使用します。) [検温について] ☐毎日10時、15時頃に検温に伺います。	[検査について] ☐ () 時に溜めていた尿を回収し、検査へ提出します。再度、尿をためる容器に尿を24時間溜めていきます。 	[検査について] ☐ () 時に、溜めていた尿を回収し、検査へ提出します。 	[検査について] ☐医師の指示により、追加検査を受けていただく可能性があります。		
					☆☆ [血糖測定について]	
					☐ 医師の指示で、血糖測定を食事前、9時、14時、20時、眠前の7回実施します。	
糖尿病集団指導	☐14:00～14:30 薬剤師より「薬について」	☐14:00～14:30 看護師より「糖尿病指導（※週により内容がかわります）」	☐14:00～15:00 検査技師より「生理機能検査について」「自己血糖測定器について」			
活動・安静度	病院内は自由					
食事	☐治療食を摂取していただきます。 ☐間食は () は可能です。					
清潔	☐入浴可 					
排泄	☐尿は、容器に24時間溜めてもらいます。	☐尿は、容器に24時間溜めてもらいます。	☐ () 時以降は、ためる必要はありません。(医師の指示をのぞいて)			
患者様及び家族への説明	[入院] ☐『入院のご案内』のパンフレットに添って説明します。 ☐名前確認のため、ネームバンドを装着させていただきます。 ☐薬剤・食物のアレルギーの有無を確認します。 ☐病歴などを聞かせてください。 ☐レンタルパジャマを使用する場合、お申し付けください。 ☐糖尿病集団指導スケジュールをお渡しします。 ☐血糖測定する意義について説明します。 [症状について] ☐冷や汗、ふるえなどが出た場合、低血糖になっている可能性が高いため、動かずにナースコールを押してください。 ☐ご家族へ来院できる都合を確認する場合があります。(栄養指導や、糖尿病教室へ患者様と一緒にいていただく場合があります。) 不安なことや、心配なことがあれば、看護師にお尋ねください。					

注) この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容や入院期間等は病状にあわせてその都度変更する場合がありますのでご了承下さい。

パスコード:53004-03 世代:0

経過 月日	7 日目 (火)	8 日目 (水)	9 日目 (木)	10 日目 (金)	11~14 日目退院日
達成目標	☐血糖値が入院時に比べ安定する。 ☐内服の必要性が理解でき、確実な内服ができる。 ☐血糖コントロールの意義がわかる。 ☐日常生活の注意点、食事の適正量・バランス、必要カロリーについて、食品交換表について分かる。 ☐糖尿病合併症と治療について分かる。 ☐自宅での食事と治療食について違いが分かる。		☐個人栄養指導を受け、生活の問題点について理解できる。	☐血糖値がコントロールされ、目標値内で安定する。	☐血糖値がコントロールされ、目標値内で安定する。 ☐低血糖・高血糖にて起こる症状が、改善・消失する。 ☐日常生活で血糖コントロールができる。 ☐低血糖・高血糖のが何で起こるかを理解し、予防するための行動がとれる。
治療・処置・検査薬剤 (点滴)	〔検査について〕 ・医師の指示により、追加検査を受けていただく可能性があります。 ☆〔血糖測定について〕 ☐医師の指示で、血糖測定を行います。食事前、眠前の4回を実施します。 〔検温について〕 ☐毎日10時、15時頃に検温に伺います。				
糖尿病集団指導	☐14:00~15:15 看護師、医師、栄養士より「日常生活について」「糖尿病について」「糖尿病の食事」	糖尿病教室 理解度小テスト を行って下さい。			
活動・安静度	病院内は自由				
食事	☐治療食を摂取していただきます。 ☐間食は()は可能です。 ☐集団栄養指導 (糖尿病教室)	☐個人栄養指導 ()			
清潔	☐入浴可				
排泄					
患者様及び家族への説明				〔退院に向けて〕 ☐次回受診について説明します。 ☐運転する際の注意事項について、説明します。(必要時パンフレット指導) ☐自宅で低血糖になった場合の注意点について説明します。 ☐シックデイの際の対応について説明します。	

注) この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容や入院期間等は病状にあわせてその都度変更する場合がありますのでご了承下さい。

糖尿病の治療は
患者さまの理解が一番大切です。
糖尿病教室の内容を理解できたか、
「理解度小テスト」で
チェックしましょう！

♪糖尿病教室 理解度小テスト♪

◆〔看護師からの問題〕 正しいものに○をつけて下さい。

①糖尿病合併症で足の感覚が鈍くなり症状が出現する。
()

②心筋梗塞や脳梗塞の起きやすさとより関係あるのは食後血糖である。()

◆〔栄養士からの問題〕 ()の中に言葉を入れてください。

①()、()、()のそろった食事をする。

②腹()分目を心がけ、()を控える。

③1日()食、()に食べる。

◆〔検査技師からの問題〕

①あなたの血糖測定は1日何回、いつ行いますか？
()

②低血糖の症状はどんなものがありますか？正しいものに○をつけて下さい。
(激しい空腹感／下痢／手足の震え／めまい／膝の痛み／意識障害)

③採血検査の前だけ食事療法を守れば結果はよくなりますか？ (はい／いいえ)

◆〔薬剤師からの問題〕

①低血糖症状が現れたらどうしますか？正しいものすべてに○をつけて下さい。

A) なにもしない。

B) 砂糖やブドウ糖 (10-15g)、同等の糖分を含む市販のジュースを飲む。

C) 余裕があれば自己血糖測定を行う。

D) もっと症状が強くなるまで待ってからブドウ糖を飲む。

E) 糖分をとって15分ほどたってもまだ回復しない場合はさらに砂糖などを飲む。

②インスリンの正しい保管方法はどれでしょうか？2つ選んで下さい。

A) 使用中のインスリンは直射日光が当たらない日陰の場所で、常温で保存する。

B) 使用中のインスリンも、使わないときは冷蔵庫で保存する。

C) 未使用のインスリンは冷蔵庫で保存する。

D) 未使用のインスリンは常温に保存し、直射日光が当たっても気にしない。

E) 未使用のインスリンは冷蔵庫や製氷室で保存する。

回答は看護師まで！

6/11

大阪南医療センター クリニカルパス委員会 2019/7/1承認

糖尿病治療を受けられる様へ（木曜日パス）

パスコード:53004-04 世代:1

経過 月日	入院日 (木)	2 日目 (金)	3日目 (土)	4日目 (日)	5日目 (月)	6日目 (火)
達成目標	☐入院の必要性がわかり、不安なく入院できる。 ☐糖尿病集団指導スケジュールについて分かる。 ☐血糖測定をする意義について分かる。 ☐看護師による糖尿病指導が理解できる。	☐検査内容がわかり、不安なく受けることができる。 ☐生理機能検査の目的、自己血糖測定器の使い方が分かる。				☐糖尿病合併症と治療について分かる。 ☐自宅での食事と治療食について違いが分かる。 ☐日常生活の注意点、食事の適正量・バランス、必要カロリーについて、食品交換表について分かる。
治療・処置・検査 薬剤 (点滴)	[検査について] ☐ () 時から、尿を24時間溜めていただきます。 [薬について] ☐持参薬の確認をします。インスリン等も確認します。医師の指示に従って下さい。 ☆ [血糖測定について] ☐医師の指示で、血糖測定を行います。食事前、眠前の4回を実施します。(持参の血糖測定器があれば使用します。) [検温について] ☐毎日10時、15時頃に検温に伺います。	[検査について] ☐ () 時に溜めていた尿を回収し、検査へ提出します。 	[検査について] ・医師の指示により、追加検査を受けていただく可能性があります。 	[検査について] ☐ () 時から、尿を24時間溜めていただきます。 	[検査について] ☐ () 時に溜めていた尿を回収し、検査へ提出します。 ☆☆ [血糖測定について] ☐医師の指示で、血糖測定を食事前、9時、14時、20時、眠前の7件を実施します。	[検査について] ・医師の指示により、追加検査を受けていただく可能性があります。 ☆ [血糖測定について] ☐医師の指示で、血糖測定を行います。食事前、眠前の4回を実施します。
糖尿病集団指導	☐14:00～14:30 看護師より 「糖尿病指導（※週により内容がかわります）」	☐14:00～15:00 検査技師より「生理機能検査について」「自己血糖測定器について」				☐14:00～15:15 看護師、医師、栄養士より 「日常生活について」「糖尿病について」「糖尿病の食事」
活動・安静度	☐病院内は自由					
食事	☐治療食を摂取していただきます。 ☐間食は () は可能です。					☐集団栄養指導 (糖尿病教室)
清潔	☐入浴可 					
排泄	☐尿は、容器に24時間溜めてもらいます。				☐尿は、容器に24時間溜めてもらいます。	
患者様及び家族への説明	[入院] ☐『入院のご案内』のパンフレットに添って説明します。 ☐名前確認のため、ネームバンドを装着させていただきます。 ☐薬剤・食物のアレルギーの有無を確認します。 ☐病歴などを聞かせてください。 ☐レンタルパジャマを使用する場合、お申し付けください。 ☐糖尿病集団指導スケジュールをお渡します。 ☐血糖測定する意義について説明します。 [症状について] ☐冷や汗、ふるえなどが出た場合、低血糖になっている可能性が高いため、動かずにナースコールを押してください。 ☐ご家族へ来院できる都合を確認する場合があります。(栄養指導や、糖尿病教室へ患者様と一緒にいていただく場合があります。 不安なことや、心配なことがあれば、看護師にお尋ねください。					





注) この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容や入院期間等は病状にあわせてその都度変更する場合がありますのでご了承下さい。

糖尿病治療を受けられる 様へ (木曜日パス)

パスコード:53004-04 世代:0

経過	7日目 (水)	8日目 (火)	9日目 (水)	10日目 (木)	11～14日目退院日
月日	/	/	/	/	/
達成目標	☐血糖値が入院時に比べ安定する。 ☐内服の必要性が理解でき、確実な内服ができる。 ☐血糖コントロールの意義がわかる。 ☐使用している薬剤血糖降下剤・インスリンについてわかる。 ☐低血糖症状とその対応について分かる。		☐個人栄養指導を受け、生活の問題点について理解できる。	☐血糖値がコントロールされ、目標値内で安定する。	☐血糖値がコントロールされ、目標値内で安定する。 ☐低血糖・高血糖にて起こる症状が、改善・消失する。 ☐日常生活で血糖コントロールができる。 ☐低血糖・高血糖の何が何で起こるかを理解し、予防するための行動がとれる。
治療・処置・検査薬剤 (点滴)	[検査について] ・医師の指示により、追加検査を受けていただく可能性があります。  ☆[血糖測定について] ☐医師の指示で、血糖測定を行います。食事前、眠前の4回を実施します。 [検温について] ☐毎日10時、15時頃に検温に伺います。				
糖尿病集団指導	☐14:00～14:30 薬剤師より「薬について」	糖尿病教室 理解度小テストを行って下さい。			
活動・安静度	☐病院内は自由				
食事	☐治療食を摂取していただきます。		☐個人栄養指導 ()		
清潔	☐入浴可				
排泄					
患者様及び家族への説明				[退院に向けて] ☐次回受診について説明します。 ☐運転する際の注意事項について、説明します。(必要時パンフレット指導) ☐自宅で低血糖になった場合の注意点について説明します。 ☐シックデイの際の対応について説明します。	

糖尿病の治療は患者さまの理解が一番大切です。糖尿病教室の内容を理解できたか、「理解度小テスト」でチェックしましょう！



♪糖尿病教室 理解度小テスト♪

◆[看護師からの問題] 正しいものに○をつけて下さい。

①糖尿病合併症で足の感覚が鈍くなり症状が出現する。()

②心筋梗塞や脳梗塞の起きやすさとより関係あるのは食後血糖である。()

◆[栄養士からの問題] ()の中に言葉を入れてください。

①()、()、()のそろった食事をする。

②腹()分目を心がけ、()を抑える。

③1日()食、()に食べる。

◆[検査技師からの問題]

①あなたの血糖測定は1日何回、いつ行いますか？()

②低血糖の症状はどんなものがありますか？正しいものに○をつけて下さい。
(激しい空腹感／下痢／手足の震え／めまい／膝の痛み／意識障害)

③採血検査の前だけ食事療法を守れば結果はよくなりますか？ (はい／いいえ)

◆[薬剤師からの問題]

①低血糖症状が現れたらどうしますか？正しいものすべてに○をつけて下さい。

A) なにもしない。

B) 砂糖やブドウ糖 (10-15g)、同等の糖分を含む市販のジュースを飲む。

C) 余裕があれば自己血糖測定を行う。

D) もっと症状が強くなるまで待ってからブドウ糖を飲む。

E) 糖分をとって15分ほどたってもまだ回復しない場合はさらに砂糖などを飲む。

②インスリンの正しい保管方法はどれでしょうか？2つ選んで下さい。

A) 使用中のインスリンは直射日光が当たらない日陰の場所で、常温で保存する。

B) 使用中のインスリンも、使わないときは冷蔵庫で保存する。

C) 未使用のインスリンは冷蔵庫で保存する。

D) 未使用のインスリンは常温に保存し、直射日光が当たっても気にしない。

E) 未使用のインスリンは冷蔵庫や製氷室で保存する。



回答は看護師まで！

注) この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容や入院期間等は病状にあわせてその都度変更する場合がありますのでご了承下さい。

糖尿病治療を受けられる 様へ（金曜日パス）

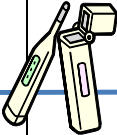
パスコード:53004-05 世代:1

経過 月日	入院日(金)	2日目(土)	3日目(日)	4日目(月)	5日目(火)	6日目(水)
達成目標	☐ 入院の必要性を理解し、不安なく入院できる。 ☐ 糖尿病スケジュールについて理解できる。 ☐ 血糖測定をする意義について理解できる。 ☐ 検査内容がわかり、不安なく受けることができる。 ☐ 生理機能検査の目的、自己血糖測定器の使い方が分かる。				☐ 糖尿病合併症と治療について分かる。 ☐ 自宅での食事と治療食について違いが分かる。 ☐ 日常生活の注意点、食事の適正量・バランス、必要カロリーについて、食品交換表について分かる。	☐ 使用している薬剤血糖降下剤・インスリンについてわかる。 ☐ 低血糖症状とその対応について分かる。
治療・ 処置・検査 薬剤(点滴)	[検査について] ・医師の指示により、追加検査を受けていただく可能性があります。 [薬について] ☐ 持参薬の確認をします。インスリン等も確認します。医師の指示に従って下さい。 ☆[血糖測定について] ☐ 医師の指示で、血糖測定を行います。食事前、眠前の4回を実施します。(持参の血糖測定器があれば使用します。) [検温について] ☐ 毎日10時、15時頃に検温に伺います。		[検査について] ☐ ()時から、尿を24時間溜めていただきます。	[検査について] ☐ ()時に溜めていた尿を回収し、検査へ提出します。再度、尿をためる容器に尿を24時間溜めていきます。 	[検査について] ☐ ()時に、溜めていた尿を回収し、検査へ提出します。	[検査について] ・医師の指示により、追加検査を受けていただく可能性があります。 ☆☆[血糖測定について] ☐ 医師の指示で、血糖測定を食事前、9時、14時、20時、眠前の7回を実施します。
糖尿病集団指導 について	☐ 14:00～15:00 検査技師より「生理機能検査について」 「自己血糖測定器について」				☐ 14:00～15:15 看護師、医師、栄養士より 「日常生活について」 「糖尿病について」 「糖尿病の食事」	☐ 14:00～14:30 薬剤師より「薬について」
活動・安静度	☐ 病院内は自由					
食事	☐ 治療食を摂取していただきます。 ☐ 間食は ()は可能です。				☐ 集団栄養指導 (糖尿病教室)	
清潔	☐ 入浴可。 					
排泄			☐ 尿を、容器に24時間溜めてもらいます。	☐ 尿を、容器に24時間溜めてもらいます。		
患者様及び家族 への説明	[入院] ☐ 『入院のご案内』のパンフレットに添って説明します。 ☐ 名前確認のため、ネームバンドを装着させていただきます。 ☐ 薬剤・食物のアレルギーの有無を確認します。 ☐ 病歴などを聞かせてください。 ☐ レンタルパジャマを使用する場合、お申し付けください。 ☐ 糖尿病集団指導スケジュールをお渡しします。 ☐ 血糖測定する意義について説明します。 [症状について] ☐ 冷や汗、ふるえなどが出た場合、低血糖になっている可能性が高いため、動かずにナースコールを押してください。 ☐ ご家族へ来院できる都合を確認する場合があります。(栄養指導や、糖尿病教室へ患者様と一緒にいらいただく場合があります。 不安なことや、心配なことがあれば、看護師にお尋ねください。					

注) この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容や入院期間等は病状にあわせてその都度変更する場合がありますのでご了承下さい。

糖尿病治療を受けられる 様へ (金曜日パス)

パスコード:53004-05 世代:0

経過 月日	7日目(木)	8日目(火)	9日目(水)	10日目(木)	11～14日目退院日
達成目標	☐血糖値が入院時に比べ安定する。 ☐内服の必要性が理解でき、確実な内服ができる。 ☐血糖コントロールの意義がわかる。 ☐看護師による糖尿病指導が理解できる。		☐個人栄養指導を受け、生活の問題点について理解できる。	☐血糖値がコントロールされ、目標値内で安定する。	☐血糖値がコントロールされ、目標値内で安定する。 ☐低血糖・高血糖にて起こる症状が、改善・消失する。 ☐日常生活で血糖コントロールができる。 ☐低血糖・高血糖のが何で起こるかを理解し、予防するための行動がとれる。
治療・処置・検査薬剤(点滴)	[検査について] ・医師の指示により、追加検査を受けていただく可能性があります。 ☆[血糖測定について] ☐医師の指示で、血糖測定を行います。 食事前、眠前の4回を実施します。 [検温について] ☐毎日10時、15時頃に検温に伺います。	 			
糖尿病集団指導について	☐14:00～14:30 看護師より「糖尿病指導(※週により内容がかわります)」	糖尿病教室理解度小テストを行って下さい。			
活動・安静度	☐病院内は自由				
食事	☐治療食を摂取していただきます。	☐個人栄養指導() 			
清潔	☐入浴可。 				
排泄					
患者様及び家族への説明	[退院に向けて] ☐次回受診について説明します。 ☐運転する際の注意事項について、説明します。(必要時パンフレット指導) ☐自宅で低血糖になった場合の注意点について説明します。 ☐シックデイの際の対応について説明します。				退院おめでとうございます！ 

糖尿病の治療は
患者さまの理解が一番大切です。
糖尿病教室の内容を理解できたか、
「理解度小テスト」で
チェックしましょう！



♪糖尿病教室 理解度小テスト♪

◆【看護師からの問題】 正しいものに○をつけて下さい。

- ①糖尿病合併症で足の感覚が鈍くなり症状が出現する。
()
- ②心筋梗塞や脳梗塞の起きやすさとより関係あるのは食後血糖である。()

◆【栄養士からの問題】 ()の中に言葉を入れてください。

- ①()、()、()のそろった食事をする。
- ②腹()分目を心がけ、()を抑える。
- ③1日()食、()に食べる。

◆【検査技師からの問題】

- ①あなたの血糖測定は1日何回、いつ行いますか？
()
- ②低血糖の症状はどんなものがありますか？正しいものに○をつけて下さい。
(激しい空腹感／下痢／手足の震え／めまい／膝の痛み／意識障害)
- ③採血検査の前だけ食事療法を守れば結果はよくなりますか？ (はい／いいえ)

◆【薬剤師からの問題】

- ①低血糖症状が現れたらどうしますか？正しいものすべてに○をつけて下さい。
- A) なにもしない。
- B) 砂糖やブドウ糖 (10-15g)、同等の糖分を含む市販のジュースを飲む。
- C) 余裕があれば自己血糖測定を行う。
- D) もっと症状が強くなるまで待ってからブドウ糖を飲む。
- E) 糖分をとって15分ほどたってもまだ回復しない場合はさらに砂糖などを飲む。
- ②インスリンの正しい保管方法はどれでしょうか？2つ選んで下さい。
- A) 使用中のインスリンは直射日光が当たらない日陰の場所で、常温で保存する。
- B) 使用中のインスリンも、使わないときは冷蔵庫で保存する。
- C) 未使用のインスリンは冷蔵庫で保存する。
- D) 未使用のインスリンは常温に保存し、直射日光が当たっても気にしない。
- E) 未使用のインスリンは冷蔵庫や製氷室で保存する。



回答は看護師まで！

注) この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容や入院期間等は病状にあわせてその都度変更する場合がありますのでご了承下さい。

♪糖尿病教室 理解度小テスト回答♪

★【看護師からの問題】正しいものに ○をつけて下さい。

- A) 糖尿病合併症で足の感覚が鈍くなり症状が出現する。
B) 心筋梗塞や脳梗塞の起きやすさとより関係あるのは食後血糖である。
答え (A、B)

★【栄養士からの問題】 () の中に言葉を入れてください。

- ① (主食)、(主菜)、(副菜) のそろった食事をする。
② 腹 (八) 分目を心がけ、(間食) を控える。
③ 1日 (3) 食、(規則的) に食べる。

★【検査技師からの問題】

- ① あなたの血糖測定は1日何回、いつ行いますか？
答え (患者様により違いますので、医師の指示を確認下さい。)
② 低血糖の症状はどんなものがありますか？正しいものに○をつけて下さい。
答え (激しい空腹感、手足の震え、めまい、意識障害)
③ 採血検査の前だけ食事療法を守れば結果はよくなりますか？
答え (いいえ)
※下記の検査でそれぞれの期間の血糖値の状態を調べることができます。
血糖値 随時
1.5-アンヒドログルシトール ～10日間
グリコアルブミン ～2週間
ヘモグロビンA1c ～1、2ヶ月

★【薬剤師からの問題】

- ① 低血糖症状が現れたらどうしますか？正しいものすべてに○をつけて下さい。
A) なにもしない。
B) 砂糖やブドウ糖 (10-15g)、同等の糖分を含む市販のジュースを飲む。
C) 余裕があれば自己血糖測定を行う。
D) もっと症状が強くなるまで待ってからブドウ糖を飲む。
E) 糖分をとって15分ほどたってもまだ回復しない場合はさらに砂糖などを飲む。
答え (B、C、E)
② インスリンの正しい保管方法はどれでしょうか？2つ選んで下さい。
A) 使用中のインスリンは直射日光が当たらない日陰の場所で、常温で保存する。
B) 使用中のインスリンも、使わないときは冷蔵庫で保存する。
C) 未使用のインスリンは冷蔵庫で保存する。
D) 未使用のインスリンは常温に保存し、直射日光が当たっても気にしない。
E) 未使用のインスリンは冷蔵庫や製氷室で保存する。
答え (A、C)

よくわからないところがあれば、
スタッフに聞いてくださいね。

